

研修カリキュラム	
講義・演習（実習）	
1 職務の理解	6時間
(1) 多様なサービスの理解	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
(1) 人権と尊厳を支える介護	
(2) 自立に向けた介護	
3 介護の基本	6時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
(2) 介護職の職業倫理	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	
(4) 介護職の安全	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
(1) 介護保険制度	
4(2) 障害福祉制度及びその他制度	
(3) 医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解	6時間
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	

実施計画		
カリキュラム名・時間数	実施内容	
1 職務の理解	6時間	1 職務の理解
(1) 同左	3	(1) 講義のみ
(2) 同左	3	講義および演習 ケアプランから始まるサービス提供にいたるまでの (2) 一連の流れ、チームアプローチ、他職種との連携 地域社会資源との連携等、介護サービスの提供に ついて話し合い、グループでシートにまとめる
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援
(1) 同左	1.5	講義および演習 (1) 事例からQOLの向上についてグループで討議し、 事例の気持ちの変化を分析し、グループでワーク シートにまとめる。
(2) 同左	7.5	(2) 通信講習のみ
3 介護の基本	6時間	3 介護の基本
(1) 同左	1.5	講義および演習 (1) 自立支援についてグループで討議し、第7回以降 の演習に繋がるものをワークシートにまとめる。
(2) 同左	1.5	(2) 講義のみ
(3) 同左	1.5	(3) 通信講習のみ
(4) 同左	1.5	(4) 通信講習のみ
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 同左	1.5	講義および演習 (1) 介護保険についてグループで討議し、制度につ いてワークシートにまとめる。
(2) 4(2) 障害者総合支援制度及びその他 制度	4	(2) 通信講習のみ
(3) 同左	3.5	(3) 通信講習のみ
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 同左	3	(1) 通信講習および講義
(2) 同左	3	通信講習および講義および演習 (2) 各職種の役割をグループでワークシートにまとめ る。
6 老化の理解	6時間	6 老化の理解
(1) 同左	3	講義および演習 体温計に見立てたペンを使用し、適切な体温測定 (1) を実施。ハンカチやティッシュにて心肺機能の低下 などを疑似体験し、日常生活に与える影響を各自 検討発表する。
(2) 同左	3	(2) 通信講習のみ

7 認知症の理解	6時間
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障害の理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかり支援の理解	
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10～13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50～55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
(実習) <sup>*</sup> (50～55時間中12時間以内)	
介護実習	○時間
ホームヘルプサービス同行訪問	○時間
在宅サービス提供現場見学	○時間

7 認知症の理解	6時間
(1) 同左	1.5
(2) 同左	1.5
(3) 同左	1.5
(4) 同左	1.5
8 障害の理解	3時間
(1) 同左	1
(2) 同左	0.5
(3) 同左	1.5
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	12時間
(1) 同左	4
(2) 同左	4
(3) 同左	4
イ 生活支援技術の講義・演習	51時間
(4) 同左	7
(5) 同左	3.5
(6) 同左	6
(7) 同左	7
(8) 同左	6
(9) 同左	7
(10) 同左	7
(11) 同左	6
(12) 同左	1.5
(実習) <sup>*</sup>	時間

7 認知症の理解
(1) 講義のみ
(2) 通信講習のみ
(3) 講義および演習 事例を用いながらグループにて討議をし、認知症の利用者への対応をワークシートにまとめる。
(4) 講義のみ
8 障害の理解
(1) 通信講習のみ
(2) 通信講習のみ
(3) 講義および演習 障害をもつ家庭への支援方法についてグループで討議し、ワークシートにまとめる。
9 ところとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習
(1) 通信講習および講義
(2) 通信講習および講義
(3) 通信講習および講義
イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 通信講習および講義
(5) 通信講習および講義
(6) 講義および実技演習 2人一組で交代で座位保持不可の利用者の衣類着脱を実技演習する。
(7) 講義および実技演習 2人一組で交代で全面介助でのベッド、車椅子、トイレの移動・移乗を実技演習する。
(8) 講義および実技演習 2人一組で交代で食事を食べさせる介助および口腔ケアの実技演習する。
(9) 講義および実技演習 2人一組で浴室での介助のロールプレイングおよびベッドでの洗髪の実技演習する。
(10) 講義および実技演習 2人一組でトイレ介助のロールプレイングおよびおむつ着脱の実技演習する。
(11) 講義および実技演習 シーツ交換等のベッドメイキングや、2人一組で褥瘡予防体位変換の実技演習する。
(12) 講義のみ
(実習) <sup>*</sup>

ウ 生活支援技術演習	10～12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	
10 振り返り	4時間
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	
計	( 130 時間)

ウ 生活支援技術演習	12時間
(13) 同左	6
(14) 同左	6
10 振り返り	4時間
(1) 同左	3
(2) 同左	1
計	( 130 時間)

ウ 生活支援技術演習	
(13) 講義および実技演習 事例を基に個別援助計画の作成演習を行う。	
講義および実技演習 (14) 2つの事例を基に一連の介助技術を行い、実技習得の評価を受ける。	
10 振り返り	
講義および演習 研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと、根拠に基づく介護についてグループで討議し、ワークシートにまとめる。	(1)
講義および演習 継続的な研修について、事例を基に具体的にイメージできるような事業所における介護の紹介を行う。	(2)

※「9こころとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。